

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. **日時**：2026年1月14日（水） 開会 13：00－閉会 16：00
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・石田 祐 関西学院大学 人間福祉学部 教授〈議長〉
- ・山内 亮太 株式会社 ESCCA 代表取締役
- ・米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス 代表
- ・菅野 拓 大阪公立大学 大学院文学研究科 人間行動学専攻 准教授
- ・中嶋 弓子 任意団体 東京おでかけプロジェクト 代表
- ・審査事務局：JANPIA

4. 議題

2025年度通常枠 第2回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. 申請の状況

- （1）草の根活動支援事業：35団体 35事業
- （2）災害支援事業：9団体 9事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 5名の出席により、石田審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・ 山内亮太
 - 一般社団法人全国コミュニティ財団協会の業務委託先である特定非営利活動法人エティック
 - 認定特定非営利活動法人カタリバの協働団体である特定非営利活動法人エティック
- ・ 米田 佐知子
 - 一般社団法人全国食支援活動協力会
- ・ 菅野 拓
 - 特定非営利活動法人いわて連携復興センター
 - 一般社団法人こども女性ネット東海
- ・ 中嶋 弓子
 - 公益財団法人ベネッセこども基金

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の2事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 社会福祉法人長野県共同募金会
事業の新規性や成果・波及効果を明確化するとともに、持続的に機能するネットワークの構築・発展を図りながら事業を推進することが期待される。
- 一般社団法人全国コミュニティ財団協会
業務委託先団体と丁寧なコミュニケーションを図りながら連携し、各団体の強みを活かして事業を推進することが期待される。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の7事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 一般社団法人 RCF
- 一般社団法人こども女性ネット東海

- 一般社団法人ドローン減災士協会
- 一般社団法人災害対策トレーニングセンター支援会
- 一般財団法人 REEP 財団
- 公益財団法人 B & G 財団
- 公益財団法人中部圏地域創造ファンド

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 6 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団
公募時の丁寧な説明と、リンクワーカーへの支援体制の整備や子ども・ユースへの具体的な支援手法の検討を進めることが期待される。
- 公益財団法人長野県みらい基金
実行団体の多様な参画を促すとともに、適切な成果指標の設定と戦略性・伴走支援の両立を図りながら事業を推進することが期待される。
- 特定非営利活動法人育て上げネット
「アウトリーチとしての居場所」の考え方や政策提言に向けた戦略を公募段階から丁寧に共有し、実行団体との認識共有を図りながら事業を推進することが期待される。
- 公益財団法人日本国際交流センター
事業の意義や期待される成果をより具体化するとともに、実行団体の活動範囲を明確化し、支援モデルの構築を推進することが期待される。
- 認定特定非営利活動法人カタリバ
アウトプットや対象を明確化するとともに、エコシステム構築の評価手法を整理し、他地域へ展開可能なモデルの構築を進めることが期待される。
- 特定非営利活動法人碧いびわ湖
「静岡方式」への理解を丁寧に共有するとともに、地域の実情に応じた伴走者ネッ

トワークの構築を進めることが期待される。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 29 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 一般社団法人こども宅食応援団
- 一般社団法人東海若手起業塾実行委員会
- 認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会
- 一般財団法人 HugLab
- 公益財団法人ベネッセこども基金
- 特定非営利活動法人わかやまエヌピーオーセンター
- 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター
- 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
- 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド
- 公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク
- 認定特定非営利活動法人さいたまユースサポートネット
- NPO 法人全国子どもアドボカシー協議会
- 公益財団法人ちくご川コミュニティ財団
- 一般社団法人徳島県就業支援機構
- 一般社団法人わの会
- 特定非営利活動法人九州海外協力協会
- 特定非営利活動法人地球と未来の環境基金
- 特定非営利活動法人ムラのミライ
- 株式会社クオリティ・オブ・ライフ
- 一般社団法人サステイナブル教育開発機構 educore
- 特定非営利活動法人フードバンク愛知
- 特定非営利活動法人グリーンケア支援協会
- 一般財団法人ふくしま百年基金
- 公益社団法人アニマル・ドネーション
- 株式会社瀬尾医療連携事務所
- 一般社団法人公益信託推進イニシアチブ
- 公益財団法人おおいた共創基金
- 一般社団法人スポーツ・オブ・ハート
- 特定非営利活動法人こどものみらいプロジェクトゆめドリ

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第2回 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. 日時：2026年1月16日（金）開会 10:00－閉会 13:00

2. 場所：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・町井 則雄 株式会社シンカ 代表取締役社長〈議長〉
- ・永沢 映 特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事
- ・山元 圭太 合同会社喜代七 代表
- ・山本 未生 一般社団法人 World In You 代表理事
- ・松川 倫子 TMatsu LLC 代表・CEO
- ・渡邊 さやか 長野県立大学 ソーシャル・イノベーション研究科 准教授
- ・審査事務局：JANPIA

4. 議題

2025年度通常枠 第2回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査

5. 申請の状況

- （1）ソーシャルビジネス形成支援：11団体 11事業
- （2）イノベーション企画支援：7団体 7事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 6 名の出席により、町井審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告はなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・なし

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 2 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 一般財団法人ひだ財団

地域課題や事業対象者を改めて整理するとともに、関係団体との連携を活かしながら事業設計・事業計画の精緻化を進めることが期待される。

■ 株式会社タカヨシジャパン

地域外人材の呼び込みから地域とのマッチング、自立的な事業モデルの構築までの道筋を具体化するとともに、関係拠点が連携しながら事業を推進することが期待される。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 9 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ

■ 特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク

■ 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

■ 特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために

■ 一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会

■ 一般財団法人未来基金ながさき

■ 株式会社 MOLE

■ 一般社団法人沖縄県旅行業協会

■ 一般社団法人福岡デザインアクション

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の3事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 一般社団法人十勝うらほろ楽舎

チャレンジングな取組から得られた学びの発信を進めるとともに、体制を強化しながら事業を推進することが期待される。

■ 特定非営利活動法人青少年自立援助センター

オンライン支援の有効性や革新性を検証するとともに、対面支援との組み合わせや関係団体との連携を通じて実効性の高い支援モデルの構築を進めることが期待される。

■ 公益財団法人地方経済総合研究所

地域住民への価値や期待されるインパクトを明確化するとともに、新たな価値創出や相乗効果を具体化しながら事業を推進することが期待される。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の4事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 一般社団法人 JP-MIRAI

■ 公益社団法人中越防災安全推進機構

■ 特定非営利活動法人脳神経疾患地域医療福祉研究機構

■ 特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために

以上